

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

山梨県 甲府市

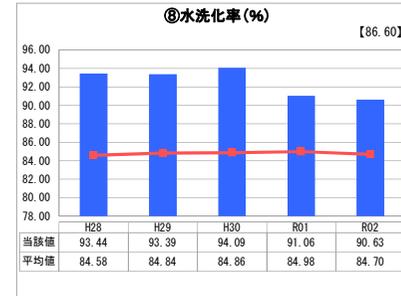
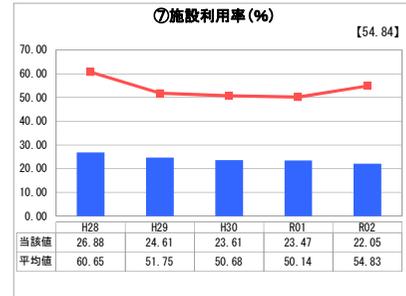
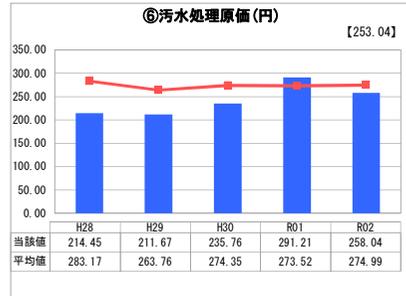
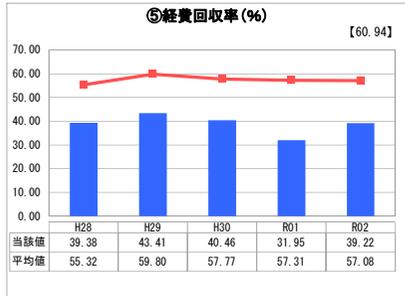
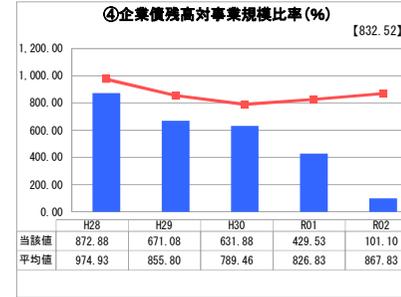
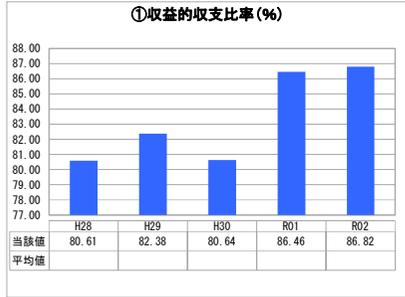
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.12	100.00	4,200

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
187,048	212.47	880.35
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
224	0.13	1,723.08

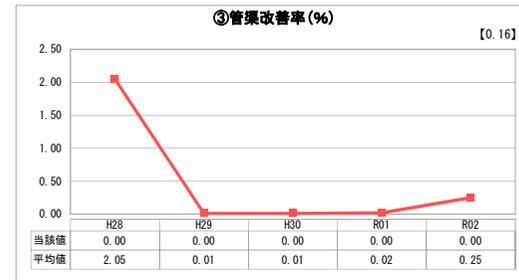
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

古閑・梯地区は、過疎化・高齢化が進み、処理区域内人口が減少していることから、使用料収入が減少し、施設の維持管理費への充当が少なく財源の確保が困難である。また、市債の償還も長期にわたり継続するため、一般会計からの繰入金で経営を維持している状況である。

収益的収支比率は、支払利息が減少傾向にあるものの、老朽化及び災害に備えるための備品購入、建物及び器具修繕の費用は増加傾向にあり、100%未満であることから、今後も経営改善に向けた取組みが必要である。

企業債残高対事業規模比率は、償還金元金の返済に伴い、減少傾向にある。

経費回収率は、前年に比べ公費負担分を除く汚水処理費の減少に伴い一時的に改善しているものの今後、老朽化及び自然災害に備えるため引き続き使用料の見直し等の検討などが必要になってくると思われる。

汚水処理原価は、委託料費、事業用器具修繕費等の増加に伴い、近年は増加傾向にある。

施設利用率は、汚水処理人口の減少に伴い、一日平均処理水量が減少することから減少傾向にある。

### 2. 老朽化の状況について

施設の供用開始より24年が経過し、施設の老朽化による機器の故障が目立ってきている。施設稼働に必要な故障箇所を優先し修繕を行っている。今後は施設の機能診断結果を基に、施設の更新や長寿命化を図っていく。

## 全体総括

当該事業は、本市の梯町・古閑町限定であり平成9年4月の供用開始から24年が経過した。今後は地域の実情を踏まえ、施設を適正に維持しながら経営努力を続けていくことが必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。